

GRASS ROOTSに 名を刻め！

— RESPECTから始める冒険 —

その32 (R05.05.30)

～ 交通安全教室で学んだこと ～

5月26日に、4年生を対象に自転車の交通安全教室が行われました。主な流れは、次の通りです。

- 1 警察官・交通指導員・保護者の自己紹介
- 2 警察官による交通安全講話と自転車点検
- 3 教員による模範走行
- 4 実技訓練
- 5 交通指導員による講評

【警察官による安全講話】

交通安全教室



①友達の命

ニンジンが好きなうさぎさん、魚が好きなねこさん、りんごがすきなくさんがいます。好きな物は違うかもしれません、みんながひとつだけ持っている大切な命です。

②ぶたはしゃべる

これは自転車点検の合い言葉です。

「ぶ」→ブレーキはしっかりとかかるかな。左右の順でブレーキをかけます。

「た」→タイヤの空気は入っているかな。前タイヤも後ろタイヤも確認してね。

「は」→ハンドルは、上から見て直角になっているかな。

反射材は、前後タイヤのスポーク、後ろ、左右ペダルに付いているかな。

「しゃ」→車体は両足が付くかな。スポークが折れていないかな。

「べる」→ベルはキチンと鳴るかな。

③標識

「止まれ」の標識で、一時停止をして、左右を確認しているかな。

④自転車に乗っているときにやらないこと

傘差し運転、二人並んで運転、

スマートフォン等を操作しながらの運転、イヤフォン等を使って運転、

ヘルメットをかぶらなかったりあごひもを緩めたりして運転